

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年12月22日
【会計年度】	自 平成27年1月1日 至 平成27年12月31日
【発行者の名称】	アンデス開発公社 (Corporación Andina de Fomento)
【代表者の役職氏名】	金融政策・国際問題担当理事 ガブリエル・フェルペト (Gabriel Felpeto, Corporate Director, Financial Policies and International Issues)
【事務連絡者氏名】	弁護士 黒 田 康 之 同 高 松 洸
【住所】	東京都港区元赤坂一丁目2番7号 赤坂Kタワー アンダーソン・毛利・友常法律事務所
【電話番号】	03-6888-4783
【縦覧に供する場所】	該当なし

1 【有価証券報告書の訂正報告書の訂正理由】

平成28年6月30日に提出いたしました有価証券報告書の記載事項の一部に記述を変更すべき箇所がございますので、関係事項を下記のとおり訂正するものであります。

2 【訂正事項】

第3 発行者の概況

3 発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合

- (1) 設立
- (5) 経理の状況

3 【訂正箇所】

訂正箇所は、下線で示しております。

第3 【発行者の概況】

3 【発行者が国際機関又は政府関係機関等である場合】

(1) 【設立】

< 訂正前 >

< 前 略 >

公社の株主諸国のうちいくつかの政府は、これまで国有化や為替管理等、一般的な民営の貸手に悪影響を及ぼすと考えられる措置を講じてきた。上記で言及した免除特権および特権の観点からは、公社は悪影響を受けていない。

< 後 略 >

< 訂正後 >

< 前 略 >

公社の株主諸国のうちいくつかの政府は、これまで国有化や為替管理等、一般的な民営の貸手に悪影響を及ぼすと考えられる措置を講じてきた。上記で言及した免除特権および特権の観点からは、これらの措置により公社は悪影響を受けていない。

< 後 略 >

(5) 【経理の状況】

< 訂正前 >

< 前 略 >

損益計算書

< 中 略 >

純利益

< 中 略 >

2015年12月31日に終了した会計年度における純利益（金融商品および株主特別基金への拠出金に関連した公正価値の未実現変動の増減前）は134.8百万米ドルであり、2014年度の純利益（金融商品および株主特別基金への拠出金に関連した公正価値の未実現変動の増減前）136.2百万米ドルに比べて1.4百万米ドル（1.0％）減少した。かかる減少は、主として、利息外収益の減少によるものである。

< 中 略 >

アンデス開発公社（公社）

包括利益計算書

2015年および2014年12月31日に終了した会計年度

（単位：千米ドル）

	注記	2015年	2014年
利息収入			
投資および銀行預金	2 (e)、3 および4	53,636	44,211
貸付金	2 (f)	526,084	481,970
貸付手数料	2 (f)	41,539	43,479
利息収入合計		621,259	569,660
利息費用			
預金		8,716	11,377
コマーシャル・ペーパー		8,900	6,459
借入その他の債務		23,828	22,541
債券		293,240	258,166
手数料		10,707	11,681
利息費用合計		345,391	310,224
利息純収益		275,868	259,436
貸倒引当金	6	18,703	21,552
貸倒引当金控除後利息純収益		257,165	237,884
利息外収益			
その他の手数料		9,150	9,070
投資対象企業の配当および利益持分	7	3,103	8,893
その他の収益		4,511	4,998
利息外収益合計		16,764	22,961
利息外費用			
管理費用	25	125,072	116,678
持分投資の減損額	7	11,046	7,307
その他の費用		3,045	696
利息外費用合計		139,163	124,681
純利益（金融商品および株主特別基金 への拠出金に関連した公正価値の 未実現変動の増減前）		134,766	136,164
金融商品に関連した公正価値の 未実現変動	23	(3,136)	1,475
純利益（株主特別基金への拠出金の 増減前）		131,630	137,639
株主特別基金への拠出金	18	54,000	-
純利益		77,630	137,639
その他の包括的利益			
年金制度の資産 / 負債の未認識変動	15および19	(603)	32
確定給付年金項目の償却額	15および19	-	317
包括利益合計		77,027	137,988

< 中 略 >

注記26 管理下にある特別基金およびその他の基金

< 中 略 >

- (1) FFCは、公社の株主により、経済的および社会的なインフラストラクチャー計画の資金を供給するために公社によって付与された一定の貸付の支払利息の一部を補償する目的で設定されたものである。2015年お

よび2014年12月31日に終了した会計年度において、FFCはそれぞれ70,307千米ドルおよび61,261千米ドルの利息の補償を行った。

注記27 セグメント報告

公社は個別の業務による純利益に対する寄与度の決定に基づいて財源を割当てることにより業務を運営していないため、経営陣は、公社の事業セグメントおよび報告対象となるセグメントは1つのみであると決定した。公社は、各国について提供された製品もしくはサービスの性質、準備プロセスまたはサービスの提供方法を区別していない。

< 後 略 >

< 訂正後 >

< 前 略 >

損益計算書

< 中 略 >

純利益

< 中 略 >

2015年12月31日に終了した会計年度における純利益（金融商品に関連した公正価値の未実現変動および株主特別基金への拠出金の反映前）は134.8百万米ドルであり、2014年度の純利益（金融商品に関連した公正価値の未実現変動および株主特別基金への拠出金の反映前）136.2百万米ドルに比べて1.4百万米ドル（1.0％）減少した。かかる減少は、主として、利息外収益の減少によるものである。

< 中 略 >

アンデス開発公社（公社）

包括利益計算書

2015年および2014年12月31日に終了した会計年度

（単位：千米ドル）

	注記	2015年	2014年
利息収入			
投資および銀行預金	2 (e)、3 および 4	53,636	44,211
貸付金	2 (f)	526,084	481,970
貸付手数料	2 (f)	41,539	43,479
利息収入合計		621,259	569,660
利息費用			
預金		8,716	11,377
コマーシャル・ペーパー		8,900	6,459
借入その他の債務		23,828	22,541
債券		293,240	258,166
手数料		10,707	11,681
利息費用合計		345,391	310,224
利息純収益		275,868	259,436
貸倒引当金	6	18,703	21,552
貸倒引当金控除後利息純収益		257,165	237,884
利息外収益			
その他の手数料		9,150	9,070
投資対象企業の配当および利益持分	7	3,103	8,893
その他の収益		4,511	4,998
利息外収益合計		16,764	22,961
利息外費用			
管理費用	25	125,072	116,678
持分投資の減損額	7	11,046	7,307
その他の費用		3,045	696
利息外費用合計		139,163	124,681
純利益（金融商品に関連した公正価値の 未実現変動および株主特別基金への 拠出金の反映前）		134,766	136,164
金融商品に関連した公正価値の 未実現変動	23	(3,136)	1,475
純利益（株主特別基金に対する拠出金の 反映前）		131,630	137,639
株主特別基金への拠出金	18	54,000	-
純利益		77,630	137,639
その他の包括的利益			
年金制度の資産 / 負債の未認識変動	15および19	(603)	32
確定給付年金項目の償却額	15および19	-	317
包括利益合計		77,027	137,988

< 中 略 >

注記26 管理下にある特別基金およびその他の基金

< 中 略 >

- (1) FFCは、公社の株主により、経済的および社会的なインフラストラクチャー計画の資金を供給するために公社によって実施された一定の貸付の支払利息の一部を補償する目的で設定されたものである。2015年お

よび2014年12月31日に終了した会計年度において、FFCはそれぞれ70,307千米ドルおよび61,261千米ドルの利息の補償を行った。

注記27 セグメント報告

公社は個別の業務による純利益に対する寄与度の決定に基づいて財源を割当てることにより業務を運営していないため、経営陣は、公社の事業セグメントおよび報告対象となるセグメントは1つのみであると決定した。公社は、各国において提供された商品もしくはサービスの性質、準備プロセスまたはサービスの提供方法を区別していない。

< 後 略 >